

浅科小学校だより

賢

優

健

令和6年4月4日(木) NO.1

佐久市立浅科小学校(58-2102)

(文責 校長 宮下寿洋)

日に日に春の足音が聞こえてくる季節となりました。子どもたちの新たなスタートを応援してくれているようです。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

本年度も子どもたちにかかわる、学校・家庭・地域等の大人が協力して、子どもたちの支援・助言にあたることができますようご協力をお願いいたします。



令和6年度、本校は、1年生46名2学級、2年生38名2学級、3年生31名1学級、4年生46名2学級、5年生39名2学級、6年生41名2学級、たけのこ31名5学級、合計272名でスタートいたしました。

子どもたちは、新しい学年・学級での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、始業式・入学式を迎えたことと思います。私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちにとって学校が楽しい、学ぶことが楽しいと実感できるよう、努力してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、これまで同様、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ～始業式の校長講話より～

2年生から6年生のみなさん、進級おめでとうございます。

今日から、新しい教室で、新しい学年での生活が始まります。はりきって、さわやかに、学校生活を始めましょう。

新しい年度の始まりにあたり、二つのお話をします。

一つ目は「あいさつの輪をひろげよう」です。浅科小学校のみなさんは「笑顔でさわやかなあいさつができる」と聞いています。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。登山をしているとき会ったこともない人同士が「こんにちは」とあいさつをする習慣があります。この先どんな道なんだろう、あとどれくらいなんだろうと不安なときも、あいさつをすると、心がほぐれホッとします。あいさつには不思議な力があるんですね。家族、友だち、先生、地域の方、知っている人どうしならもっと心が温まりますね。どんどんあいさつの輪を広げていきましょう。そして、明るくて気持ちのよい浅科小学校をみんなでつくっていきましょう。

二つ目は「友だちを大切にしよう」です。友だちを大切にするためには、どうしたらいいのでしょうか。たくさんの方がいると思いますが、私は「友だちが大切にしている物や事を、大切にすること」が大事だと思っています。もしかしたら、友だちが大切にし

ているものは、自分にとっては全く興味がないことかもしれません。でも、大切にしているものを粗末に扱われたら、悲しくなってしまうよね。反対に「それすごい。いいね。」と言われると、わかってもらえてうれしいなと感じます。みなさんは一人一人が、とても大切な存在です。お互いを大切に、心が温くなる浅科小学校をつくっていきましょう。そしてうれしいときありがとうがいいあえるといいなと思います。

最後に、6年生のみなさんにお願いがあります。

6年生はこの浅科小学校の「顔」となります。みんなの模範であり、憧れの存在です。最高学年として、浅科小学校の先頭に立って1年生から5年生を引っ張って行ってほしいと思います。期待しています。

笑顔であいさつをすること、友だちを大切にすることをがんばり、浅科小学校を笑顔いっぱい楽しい学校にしましょう。

あ り が と う	あ り が と う	い い き も ち	い わ れ り や も っ と	い い き も ち	い え ば と っ て も	あ り が と う	あ り が と う	あ り が と う
								し ょ う じ だ け し